

早稲田医学院歯科衛生士専門学校自己評価（2018年度末）

早稲田医学院歯科衛生士専門学校教職員による無記名アンケート方式

※アンケートは各質問項目に対して

4：十分に達成している

3：おおむね達成している

2：どちらかというとは達成されていない

1：ほとんど達成されていない

の4段階で評価したものを集計し、その平均値を評価基準として採用した。

また、達成が不十分な項目については、今後取り組む課題も検討することとした。

学校教育理念 (教育方針)	生涯を通して歯科衛生士として輝き続ける 歯科衛生士として専門分野の充実に加え、ひとりの人間としての資質向上を図る
学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・素直であること ・まじめであること ・感謝の心を持つこと ・独立心を養うこと
重点努力目標	<ul style="list-style-type: none"> ・医療人としての目的意識を高め、自己管理能力を身につける ・歯科衛生士として必要なライフステージに合わせた臨地実習の確保に努める ・臨床実習期間中に歯科衛生士業務をより多く体験し、即戦力を身につける

1. 教育理念・目的・育成人材像

	自己点検項目	取り組み	評価
1-1	教育理念・目的・育成人材像が定められているか	学校パンフレット、HP、体験入学等において入学前から教育理念については周知させている。教育理念に基づき、学内教育のみならず卒業後教育にも積極的に取り組む	4
1-2	教育理念および教育目標の周知		4
1-3	教育理念に基づいた教育カリキュラム等の構築		4

2. 組織・学校運営

	自己点検項目	取り組み	評価
2-2	教育理念に沿った運営方針を定めているか	教育理念に基づく努力目標を定め、教育内容に反映させる	4
2-3	教育理念に基づいた事業計画が定められているか	教育理念を達成するための事業計画の設定	4
2-4 ①	法人は学校運営のための適正な組織運営に努めているか	全体会議での目標提示と半期、年度末の振り返りを実施、部署会議等の開催で達成のための方策を検討する	4
2-4 ②	学校運営における方針の共通認識を教職員ひとりひとりが把握する	年度ごとの目標(学校・自己)を作成、提示し全職員で情報共有する	3
2-5	人材・給与制度に関する制度を整備しているか	採用基準および勤務状況による給与制度の導入。教職員人材育成には教職員全体で積極的に取り組んでいる	4
2-6	意思決定システムが整備されているか	担当者会議から始まり段階ごとに適正な運営を目指すための意思決定システムの構築に努めている	4
2-7	業務の効率化、情報システム化が整備されているか	部署ごと業務の効率化を図り、情報システム化を導入中	3

3. 教育活動

	自己点検項目	取り組み	評価
3-8	教育目標の設定がなされているか	教育目標に基づきより具体的な重点努力目標を設定	4
3-9 ①	目標に基づいた教育方法が実施されているか	学生の状況に応じて検討し科目間連携を強化、教育方法の見直し等も積極的に都度、半期、年度末で検討	4
3-9 ②	教育評価の実施	教育評価の実施とフィードバック	3.5
3-9 ③	学生の理解度を向上させる	形成的評価結果に応じて理解度を確認し授業構築や授業内テストなどの実施	3.6
3-10	成績評価・単位認定の適正化	学則に基づき設定し学生便覧およびシラバス上で学生に周知させ、半期ごとと保護者への状況報告を実施	4
3-11 ①	資格・免許取得の指導体制	基礎科目の事前学習や講義・実習後の事後考察を取り入れる 国家試験合格に向けたレベル別プログラムの実施	4
3-11 ②	資格取得後の実践力・即戦力を養う教育内容の実施	ライフステージに合わせた臨地実習や臨床実習において直接対面行為等の実施を取り入れる	4
3-12 ①	教員・教員組織	全体会議を通じ教員の資質の向上に努め、専任教員間の授業評価と後進指導の実施および教育目標に沿った教育の提供のために外部講師との連携を図る	3.5
3-12 ②	教員の教育力の向上	教職員講習の実施、学生評価に基づく教育間の授業内容検討、自己研鑽のための学会、講習会等への積極的参加	3.2

4. 学修成果

	自己点検項目	取り組み	評価
4-13	就職率(在学中に内定率 100%を目指す)	就職セミナーの開催、学生の希望に則した就職先の個別助言の働きかけ	4
4-14	資格・免許取得率(国家試験合格率 100%を目指す)	入学後から卒業まで資格取得を意識した授業展開の実施	4
4-15	卒業生の社会的評価	卒業後の就業状況の公表、卒業生の活躍の場を HP 等で掲載、卒業後研修において学びの場の提供と卒業状況の情報収集	3.6
4-15 ②	社会人適応力の向上	自己の行動に対する問題解決能力を育成すると共に、医療人としてのコミュニケーション力の向上を図る	3.7
4-15 ③	医療人としての規律性を身につける	学則に基づき規律違反の者には適切な対応を行い、処罰に発展しないよう早期の学生指導を心掛ける	3.5

5. 学生支援

	自己点検項目	取り組み	評価
5-16 ①	就職等進路の支援 (就職先のイメージ構築)	一般開業医勤務以外の企業、行政、教育、病院等の歯科衛生士や大学編入等の認知を積極的に働きかける	3.4
5-16 ②	職場開拓(歯科衛生士としての職の幅の拡大を図る)	臨地実習等でライフステージに合わせた多種多様な体験を通じて将来的なビジョンを描けるように働きかける	4
5-17	中途退学への対応	問題行動(不登校・素行不良・学力・技術力不足)への早期対処(個別相談を始め、入学時から積極的に個別相談対応)	3.5
5-18	学生相談		3.5
5-19 ①	適正な学生生活を送るため自己管理能力の向上を図る	身だしなみ・健康管理・時間・報連相・持ち物管理の徹底を専任教員が中心となり必要性を説き日常的に働きかける	3.6
5-19 ②	学生健康管理の徹底	健康診断後の事後措置、早期の受診勧告とワクチン接種等を働きかける	4
5-20	保護者との連携	期毎の成績表および出席状況等の報告文書に加え、問題行動等の必要に応じて保護者への報告(電話、文書、面談)の実施	4
5-21	卒業生・社会人	卒業後研修の実施および多職種との交流を図る	3.6

6.教育環境

	自己点検項目	取り組み	評価
6-22 ①	施設・設備等(教育機器の整備、購入の検討)	定期施設点検、電気保安協会、エレベーター、消防点検の実施 年度毎教育機器の検討を行い必要に応じて更新を図る	3.5
6-22 ②	省エネとエコロジー運動の推進	未使用教室の消灯、節水、分別ゴミの徹底を図る	4
6-23	学外学習、インターンシップ(臨地・臨床実習)等の充実	社会のニーズに従い学外研修の実施および臨地実習先の拡大	4
6-24	防災・安全管理	災害時の対応(防災訓練の実施)、職員学生の防災用品として 飲料水と乾パン等の確保、災害マニュアルの策定	4

7.学生募集と受け入れ ※P(計画)D(実施)C(評価)A(評価後の課題検討)

	自己点検項目	取り組み	評価
7-25	学生募集活動	計画的な高校訪問と歯科医院訪問の実施および教職員会議の 実施、PDCAに基づく広報活動	4
7-25	歯科衛生士の認知度の向上	高校訪問における高校教諭や保護者への働きかけの実施	3.8
7-26	適正な入学選考	募集要項の提示、入試方法別の選考方法、一般入試問題出題 傾向および面接試験内容例の公表、面接試験の点数化	4
7-27	学納金	募集要項および入学決定者への文書提示、分納方法の明示化 中途退学者等への学費返納は学則に基づき学生便覧で提示	4

8. 財務

	自己点検項目	取り組み	評価
8-28	財務基盤	事業計画に基づき財務計画、収支予算書の作成を行い、理事会 承認の下、安定的な学校運営が行えるよう図っている。	3
8-29	予算・収支計画	財務基盤の安定を図るために予算、収支計画を公認会計士の 監査の下、立案、実施を図っている。	4
8-30	監査		
8-31	財務情報の公開	情報公開マニュアルの規定に沿って財務情報の公開を図る。	3

9. 法令等の遵守

	自己点検項目	取り組み	評価
9-32	関係法令、設置基準等の遵守	法令や設置基準の遵守は、厚生労働省、東京都、新宿区の設 置基準に係る審査を受け指導および規定に従い実施している	4
9-33	個人情報保護	学生募集に掛かる情報は管理ソフト(infoクラウド)で在校生 情報管理の徹底を図り、学生情報学外持ち出しの禁止	4
9-34	学校評価	半期ごと学校自己評価の実施、年度末に結果に応じた検討を 行い、結果についてはHPおよび外部講師への文書等で公表	3
9-35	教育情報の公開	HP上で授業内容等の公開を図り、本学の教育内容や歯科衛 生士への理解を深めるために積極的に発信している	4

10.社会貢献

	自己点検項目	取り組み	評価
10-36	社会貢献・地域貢献	教育活動として地域の小学校の歯科保健指導の実施、社会貢 献として教育施設の開放(セミナー等の実施)や地域住民との 連携を図る(ノラ猫対策など)、災害時の募金の活動等	3
10-37	ボランティア活動	近隣のゴミ拾い活動など	3.0

学生募集活動や職員間の情報共有などについての課題はあるものの、自己点検を行うことにより、教職員全体で課題や改善に向けての活動が行いやすくなっており、今後も継続して実施して行きたい。